

「人と自然の関係 緑地通し知って」

天白区「相生山まつり」にぎわう

高学年児童が竹楽器を作るとともに「相生山まつり」を天白区で



般や小石などを入れた。友人らと参加した小学4年、高田菜摘さん(9)は「金づちを使うのが難しかったけど、不思議な音が出る楽器ができてうれし」と笑顔。

同会は、同緑地外に住む市民や市と共に、竹林の整備などを行う「緑地創作隊」活動に取り組んでいる。伊藤代表は「相生山緑地は街の中にあいながら、一歩踏み入れると緑がいっぱいの自然と隣家が共存している場所。人と自然の素晴らしい関係を、この緑地を通して知ってもらいたい」と話している。

【福島祥】

10月に同市で生物多様性条約第10回締約国会議(COP10)が開かれるのに合わせ、地域住民でつくる「相生山緑地の会」(伊藤宏代表)が初めて開いた。参加者は緑地一帯で竹林や野鳥を観察し、竹

を使ったおもちゃで遊んだりした。

「なごや
COP10

生物多様性条約の
締約国会議

国連が定めた「国際生物多様性の日」の22日、名古屋市天白区の相生山緑地で、自然を観察するイベント「いきものイキイキ相生山まつり」が開かれ、家族連れなどでにぎわった。

た。